

## 再評価結果（平成17年度 事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> 一般国道308号 <small>おおみやどうろ</small> 大宮道路	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 奈良県																											
<b>起終点</b> 自：奈良県奈良市宝来 至：奈良県奈良市三條大路	<b>延長</b> 1.9km																												
<b>事業概要</b> 一般国道308号は、大阪府大阪市から奈良県奈良市に至る実延長約37km（奈良県域約15km）の幹線道路である。大宮道路は、第二阪奈有料道路の合流部に位置し、交通混雑の解消と大和平野地域の発展を支援する延長1.9kmの高架部4車線、平面部4車線の8車線道路である。																													
H2年度事業化	S61年度都市計画決定 (H9年度変更)	H3年度用地着手 H5年度工事着手																											
<b>全体事業費</b> 270億円   <b>事業進捗率</b> 62%   <b>供用済延長</b> 0.3km																													
<b>計画交通量</b> 国道308号大宮道路 70,400台/日																													
<b>費用対効果分析結果</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><b>B/C</b> (事業全体)</td> <td style="width: 20%;">1.5</td> <td style="width: 20%;"><b>総費用</b> (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 20%;">68/295億円</td> <td style="width: 20%;"><b>総便益</b> (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 20%;">457/457億円</td> <td rowspan="3" style="width: 20%; vertical-align: top;"><b>基準年</b> 平成16年</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>6.7</td> <td>事業費</td> <td>66/293億円</td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>363/363億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>2/2億円</td> <td>走行費用減少便益</td> <td>94/94億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>0/0億円</td> <td></td> </tr> </table>	<b>B/C</b> (事業全体)	1.5	<b>総費用</b> (残事業/事業全体)	68/295億円	<b>総便益</b> (残事業/事業全体)	457/457億円	<b>基準年</b> 平成16年	(残事業)	6.7	事業費	66/293億円	走行時間短縮便益	363/363億円			維持管理費	2/2億円	走行費用減少便益	94/94億円					交通事故減少便益	0/0億円				
<b>B/C</b> (事業全体)	1.5	<b>総費用</b> (残事業/事業全体)	68/295億円	<b>総便益</b> (残事業/事業全体)	457/457億円	<b>基準年</b> 平成16年																							
(残事業)	6.7	事業費	66/293億円	走行時間短縮便益	363/363億円																								
		維持管理費	2/2億円	走行費用減少便益	94/94億円																								
				交通事故減少便益	0/0億円																								
<b>感度分析の結果</b> 残事業（事業全体）について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.7（交通量+10%） B/C=1.4（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.5（事業費+10%） B/C=1.6（事業費-10%）																													
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） 他13項目に該当																													
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 特になし																													
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 交通量が増加し、交通混雑が慢性化している。																													
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地買収率（面積）96%、工事進捗率（事業費）62%であり、0.3km部分供用している。																													
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地買収交渉の難航により用地取得が遅延している。事業認定の申請も検討しながら、工事着手可能箇所から順次工事を行い早期の事業完了を図る。																													
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 低騒音舗装や連続高架橋によるジョイント数の削減及び透光型遮音壁を採用して環境に配慮している。																													
<b>対応方針</b> 事業の継続																													
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらない。																													
<b>事業概要図</b> 																													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。